

冬季限定の スノーキャンドル

最近、子供たちの間で人気の冬遊びが「スノーキャンドル作り」です。スノーキャンドルは、雪を使って手軽にできる冬季限定の照明です。白い雪とオレンジの炎が幻想的な世界をつくり出し、独特の味わいを醸し出します。

今年二月の雪まつり期間中には、市内の全児童会館で、冬の風物詩でもある雪を使ったスノーキャンドルを飾りました。

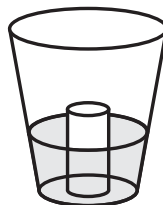


中島児童会館では、鴨々川にちなみ、100個のスノーキャンドルで「カモ」を描きました

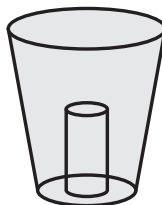


五分でできるスノーキャンドルの作り方

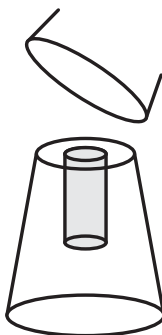
1 バケツ底の中心に円い空き缶を固定しながら、雪を入れる



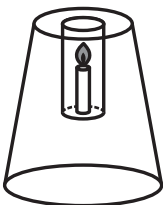
2 空き缶が固定されたら、雪をバケツ一杯になるまで入れる



3 逆さまにして、バケツと空き缶を抜く



4 穴の空いている底に、ろうソクを固定して完成!



火の後始末には気を付けましょう!

形やつくり方は、工夫次第でいろいろあります

「災害救援ネットワーク北海道」では、「二・一七・KOBÉに”灯り”を」を合言葉に、平成十二年から、毎年震災のあった日（一月十七日）に合わせ、スノーキャンドルを利用した阪神淡路大震災の追悼式を行っています。昨年は、前日から二十人足らずで約二千個のスノーキャンドルを作り、点灯しました。全国でも約四十の都市で行われ、地元神戸では、竹筒にろうソクを入れてともしています。



大通公園西3丁目で行われた第1回目(平成12年)
写真：災害救援ネットワーク北海道提供

お問い合わせ ☎090-8274-8062
(災害救援ネットワーク北海道 代表 山口さん)

来年一月十八日(土)・十九日(日)に、サッポロファクトリーでの開催を予定しています



冬のイベント一覧

ミュンヘンクリスマス市
12月15日(日)まで (大通公園2丁目)

第22回さっぽろホワイトイルミネーション
来年1月5日(日)まで (大通公園)
来年2月11日(祝)まで (札幌駅前通)

第54回雪まつり・第23回すすきの氷まつり
来年2月5日(水)~11日(祝)

札幌に北海道開拓使が置かれ、百三十年余りの年月が流れました。この間、いつの時代も冬は訪れ、先人たちは厳しい寒さや雪と闘い克服してきました。

一方で、雪は、飲み水や電力の発生に活用されるなど、私たちの暮らしに欠かすことのできない存在になっています。

また、冬はクリスマスやお正月など楽しい行事もたくさんあり、家族の触れ合いも深まる季節です。今年も、スノーキャンドルを自宅に飾ったり、イベントに仲間と出掛けたりと、冬の季節を積極的に楽しんでみてはいかがでしょうか。

除雪などのお問い合わせは本誌とじ込みの「FIREMANのガイド」をご覧ください

